

芦北町議会だより



うたせ

第37号

平成26年
6月3日発行



御立岬ビーチサッカーフェスティバル2014大会（5月25日）

- 臨時議会……………P 2～3
- 3月定例議会……………P 4～5
- 総務常任委員長報告……………P 6～
- 建設経済常任委員長報告……………P 7～
- 文教厚生常任委員長報告……………P 8～
- 一般質問……………P 10～11
- 議会のうごき・編集後記……………P 12



議 長に寺本修一氏 副議長に水口宣之氏

初議会

委員会構成と監査委員も決まる！

4月7日に臨時議会（選挙後の初議会）を開催し、議長に寺本修一氏、副議長に水口宣之氏を選出するとともに、各常任委員、議会運営委員、議会広報特別委員及び監査委員を選任した。

また、芦北町税条例等及び芦北町国民健康保険税条例の一部改正並びに芦北町御立岬公園と計石港観光休憩所の指定管理者の変更についての専決処分を承認した。



臨時議長を務める岡部議員

①3回
②大岩
③文教厚生
議会運営



みずぐち のりゆき
水口 宣之

副議長

①3回
②田浦



てらもと しゅういち
寺本 修一

議長

4月7日の臨時議会において、議長に就任いたしましたので、町民の皆様にご挨拶を申し上げます。

本町が合併して10年目を迎える議会も3回目の選挙でありました。

地方においては、厳しい財政状況に加え、人口減少、少子・高齢化が進む中、国においては、道州制導入に向けた議論もおこなわれています。

議会は、民意を反映しつつ新たな地方自治の振興・発展に向け行政、住民とともに鋭意努力してまいります。

議長として町民の更なる飛躍を目指し、私心を捨て去り、天地自然に従い生きるといふ夏目漱石が晩年好んだ「則天去私」をモットーに最善を尽くす所存であります。

今後とも、ご支援とご協力をお願いいたします。

議長就任
あいさつ

委員会構成		議会運営委員会	総務常任委員会	建設経済常任委員会	文教厚生常任委員会
	委員長	宮尾 秀行	草野 安道	元山 秀志	前田 徹一
	副委員長	草野 安道	寺本 順一	川尻 成美	岡部恵美子
	委員	水口 宣之	藤井 公明	平松 洋一	水口 宣之
	委員	藤井 公明	白坂 康浩	宮尾 秀行	古村 逸男
	委員	元山 秀志	荒川 知章	宮内 道則	坂本 登
	委員	前田 徹一			



ふいじ ひろあき
藤井 公明

①3回 ②花岡
③総務、議会運営



おかべ えみこ
岡部 恵美子

①3回 ②湯浦
③文教厚生副委員長

議員を紹介します

①当選回数

②地区名

③所属委員会



もとま やま しゅうじ
元山 秀志

①3回 ②小田浦
③建設経済委員長
議会運営



みやお ひでゆき
宮尾 秀行

①3回 ②田浦
③議会運営委員長
建設経済、広報特別



ひらまつ よういち
平松 洋一

①3回 ②小田浦
③広報特別副委員長
建設経済



かわしり なるみ
川尻 成美

①3回 ②女島
③建設経済副委員長



こむら いつお
古村 逸男

①3回 ②芦北
③文教厚生
監査委員



しらかさ やすひろ
白坂 康浩

①3回 ②花岡
③総務、広報特別



くさの やすみち
草野 安道

①3回 ②大野
③総務委員長
議会運営副委員長



まえだ てついち
前田 徹一

①3回 ②米田
③文教厚生委員長
議会運営、広報特別



あらかわ ともあき
荒川 知章

①1回 ②米田
③総務、広報特別



さかもと のぼる
坂本 登

①2回 ②花岡
③文教厚生



みやうち みちのり
宮内 道則

①3回 ②白岩
③広報特別委員長
建設経済



てらもと じゅんいち
寺本 順一

①3回 ②田浦町
③総務副委員長

3月定例議会



3月定例会は、3月3日に招集され、14日までの12日間の会期で開催した。

上程された議案は、平成26年度当初予算をはじめ、平成25年度一般会計補正予算及び特別会計補正予算並びに芦北町職員の勤務時間、休暇等に関する条例の一部改正など35議案で、平成26年度一般会計予算については、起立による採決の結果、賛成多数で原案のとおり可決し、他の議案は、全会一致で可決した。

一般質問には2議員が登壇し、町執行部の考えを聞いた。

町長の施政方針と予算大綱(要約)

◎社会情勢と芦北町の状況

本町では、来年1月1日に合併10周年を迎えることとなります。合併以後の施策を振り返りながら、新たな「芦北町総合計画」を策定し、さらなる町民生活の質の向上を図るため、行政改革の継続と中長期的な視点に立った健全財政、効率的、重点的な事業展開に努める年となります。

コストの削減及び効率化や国・県の補助事業等を活用し、持続可能な財政運営を基本に重点的かつ効果的財源を投入するなど、積極的な事業展開を図る事と致しました。一般会計予算総額は、99億3,700万円となり前年度当初予算に比べ3,900万円、0.4%の伸びとなっております。

◎主要な施策について

平成26年度当初予算案に盛り込みました主要な施策について、総合的に定めました6つの柱ごとに概要を申し上げます。

①魅力的な地域づくり

「地域づくり」

②人にやさしい快適なまちづくり

「生活・福祉」

③生きがいある働き場づくり

「経済・産業」

④豊かな心の人づくり

「教育・文化・国際交流」

⑤生活を支える基盤づくり

「基盤整備」

⑥効率的な行政組織づくり

「行政組織」

であります。

◎結び

平成26年度の予算大綱をご説明申し上げますが、国内外ともに厳しくなる社会情勢の中、さらなる町民の融和と芦北町の発展を念頭に、子どもから高齢者まで「安全で安心な暮らし」を提供できるよう、質の高い行政サービスに取り組んでまいります。

平成26年度 当初予算を可決 166億5,408万円

(金額は万円単位で表示)

会計名	26年度予算額	増減額
一 般 会 計	99億3,700万円	0.4%
特 別 会 計	国民健康保険事業	35億7,050万円
	介護保険事業	20億8,270万円
	簡易水道事業	7,320万円
	農業集落排水処理事業	2億3,510万円
	生活排水処理事業	5,600万円
	町有温泉事業	9,670万円
	奨学資金貸付事業	3,170万円
	後期高齢者医療事業	2億6,580万円
公営企業会計(水道事業)	3億 538万円	24.1%
合 計	166億5,408万円	1.2%

一般会計の予算規模は
前年対比0.4%増

平成25年度
3月補正予算
(一般会計)

3億4,297万円を追加

(金額は万円単位で表示)

会 計 名	補正額(増減)	予算総額
一 般 会 計	3億4,297万円	104億8,311万円
特別会計	介護保険事業	24万円
	後期高齢者医療事業	1億3,223万円
		2億 723万円

主な質疑

質 妊婦の健診委託料の補正は、何人分か。

答 住民生活課長

13人の増を見込んでいる。

質 港湾費の中で、3月のこの時期、負担金の補正が出されるというのはどういう意味か。

答 建設課長

質 県の負担金については、当初予算に対し、事業費が大きく増減することがあるため、例年事業費の確定する年度末に精算し、3月議会に補正をお願いしている。

質 国のがんばる交付金とは、どういう交付金であるのか。

答 企画財政課長

質 景気の回復が波及していない、財政力の弱い市町村に地域活性化事業に向け創設された交付金である。

質 南九州西回り自動車道渇水等被害対策積立金というのがあるが、この被害地域はどこか。

答 企画財政課長

質 芦北の伏木氏地区と、田浦の河原地区である。

総務常任委員長報告

― 抜粋 ―

議案第4号「平成26年度
芦北町一般会計予算」

【企画財政課】

新たな芦北町総合計画の策定や芦北町紹介DVDの改訂が計画されています。また、農林業センサス等の基幹統計調査実施により、対前年度比4,659万5千円増の13億6,668万9千円となっております。

主な質疑として、臨時財政対策債は、国が確実に交付税措置できるのか、いつ措置されるのか、その償還計画はどの質疑に対し、現行制度では100%交付税措置されるもので、元利償還時に交付税措置されており、償還計画に基づいて償還しているとの答弁がありました。

芦北町総合計画の業務委託先と、どのような順で策定がなされ、いつ配布されるのかなどの質疑に対し、委託先・委託内容は未定だが、平成26年12月までに策定する予定であるとの答弁がありました。



DVDによる町紹介

【総務課】

平成27年1月に合併10周年を迎えることから、更なる町民の融和と芦北町の発展を目的とし、合併10周年記念式典及び各種イベントの開催が計画されており、また、広域消防本部消防救急デジタル無線整備完了に伴う負担金の減等により、対前年度比2億2,308万2千円減の12億4,977万3千円となっております。

主な質疑として、合併10周年記念事業の内容はどの質疑に対し、平成27年1月に式典を考えている。地域活動の功労者等表彰、午後には記念イベントで新春寄席等を検討していきたい。また、NHKのど自慢については日程調整等を進めているとの答弁がありました。

町交際費では、特産品の効果はないと思うので、宣伝は、商工観光課でイベント等を行ってはどうかとの質疑に対し、特産品は町のPR効果のみでなく、町の産業振興にもつながっている。商工観光課においては各種イベント時にPRを行っているとの答弁がありました。

質疑終了後、町交際費について、特産品が約半分を占めていることや、月ごとの詳細が明らかになっていないという反対討論に対し、町交際費は町の事業推進費であり、特産品は産業振興や町のPRに大きく貢献しているという賛成討論があり、起立による採

決の結果、賛成多数で原案のとおり可決することに決しました。

【議会事務局】

議会だよりのカラー印刷や、老朽化したファックスの買い替え等により、対前年度比191万5千円増の1億2,556万2千円となっております。

主な質疑として、議会交際費について、年4回の議会だよりに載せてはどうか、また、その詳細を公表して欲しいがどうかとの質疑に対し、要綱に基づき年1回議会だよりとホームページに掲載しているとの答弁がありました。

【田浦基幹支所】

対前年度比194万9千円減の1,214万8千円となっております。

主な質疑として、職員5人体制で業務を行っているが、住民サービスに支障はないかとの質疑に対し、みんなで事務分担しながら協力し合い事務処理を行っているとの答弁がありました。

【税務課】

新規事業として不動産差押物件の公売に向けた不動産鑑定評価業務委託料が計上されておりますが、土地家屋悉皆調査業務委託料の減等により、対前年度比1,225万円減の4,584万5千円となっております。

地籍調査事業は、旧芦北町全地区の測量工程業務が終了し、平成26年度に国・県の認証を経て、その地籍成果を法務局へ送付し完了となり、平成27年度からの固定資産税の新地積による課税の準備が行われます。

主な質疑として、町民税の均等割が3千円から3千500円に上がったが、税収は減となっている理由はどの質疑に対し、均等割りでは500円加算されたことにより増となるが、所得割で減となるためとの答弁がありました。

以上、当委員会に付託されました議案第4号「平成26年度芦北町一般会計予算」につきましては、総務課所管を除き、全会一致で原案のとおり可決すべきものと決しました。

建設経済常任委員長報告

— 抜粋 —

議案第4号「平成26年度
芦北町一般会計予算」

【建設課】

町道射場芦北線改良事業や町道宮浦線改良事業などの主要事業について説明があり、予算計上額は、6億4,074万5千円で、前年度比7,822万3千円の減となり、主な理由は南九州西回り自動車道渇水等被害対策に伴う、事業費等の減です。

委員から、交通安全施設設置工事内容の質疑があり、町道川嶽線外7路線においてガードレールやカーブミラー設置等を実施する計画であるとの答弁がありました。

【農林水産課】

新規農業参入者等のための空き家調査、多目的センター改修工事及び田浦漁港堤防修繕工事などの新規事業並びに各振興事業について説明があり、予算計上額は、7億1,931万6千円で、前年度比2億2,394万4千円の増

となり、主な理由は新規事業分等の増です。

委員から、空き家調査内容の質疑があり、事業主体は芦北町担い手育成総合支援協議会とし、町内の不動産業者に仲介を頼む。貸付の諸条件を調査し、町のホームページで公表したい。なお、調査は5年計画で行い、平成26年度は湯浦地区を実施するとの答弁がありました。



田浦漁港堤防

【農業委員会事務局】

耕作放棄地調査や、農地利用の効率化を促進するとの説明があり、予算計上額は、925万9千円で、前年度比2万円の減です。

委員から、耕作放棄地の質疑があり、平成21年の全筆調査で750haあったが、その後60haが解消されているとの答弁がありました。

【上下水道課】

簡易水道事業等への繰出金など予算計上額は、2億2,485万7千円で、前年度比121万3千円の増です。

委員から、浄化槽設置整備事業補助金の県補助金交付要項見直しについて質疑があり、汲取り式及び単独浄化槽から新たに合併浄化槽へ転換する場合に補助金が交付される。なお、新築の場合、国費及び町費分の補助金は継続され、県費分のみ補助対象外になる予定との答弁がありました。



浄化槽設置整備事業

【商工観光課】

計石小学校跡地活用基本設計業務委託などの新規事業及び商工業振興補助金のうちプレミアム付地域商品券を1,000万円から1,300万円に増額することなどの説明があり、予算計上額は、4億3,225万7千円で、前年度比1億3,823万5千円の減となり、主な理由は湯浦温泉センター改築工事費等の減です。

委員から、計石小学校跡地活用基本設計業務委託内容の質疑があり、うたせ船と関連させ観光休憩所や学習施設、調理体験施設などを考えているとの答弁がありました。

以上、質疑終了後は討論もなく、議案第4号は全会一致

で原案のとおり可決すべきものと決しました。

議案第7号「平成26年度芦北町簡易水道事業特別会計予算」

水道事業と簡易水道事業の統合を計画的に図るため、簡易水道施設資産調査業務委託などを行うとの説明があり、予算計上額は、7,320万円で、前年度比180万円の減です。

委員から、事業の統合について質疑があり、平成28年度からの予定との答弁がありました。

以上、質疑終了後は討論もなく、議案第7号は全会一致で原案のとおり可決すべきものと決しました。

議案第8号「平成26年度芦北町農業集落排水事業特別会計予算」

伏木氏地区農業集落排水施設の改修などを行うとの説明があり、予算計上額は、2億3,510万円で、前年度比1,720万円の増です。

委員から、修繕内容の質疑があり、芦北地区は排気ファンの取替えと公共樹の修繕。米田地区は計装盤部品の取替えと公共樹の修繕。花岡東地区は脱臭炭の取替えと汚泥供

給ポンプの取替えとの答弁がありました。

以上、質疑終了後は討論もなく、議案第8号は全会一致で原案のとおり可決すべきものと決しました。

議案第9号「平成26年度芦北町生活排水処理事業特別会計予算」

市町村設置型浄化槽735基の維持管理が主であるとの説明があり、予算計上額は、5,600万円で、前年度比30万円の減となっており、議案第9号は、質疑・討論もなく、全会一致で原案のとおり可決すべきものと決しました。

議案第10号「平成26年度芦北町有温泉事業特別会計予算」

住民に親しまれる運営に努めるとの説明があり、予算計上額は、9,670万円で、対前年度比2,460万円の減です。

委員から、大野温泉センターの利用料金制について質疑があり、平成24年度から3年間、JAあしきたと使用料金制による管理運営協定を締結している。これまではJAが経費をかけて利便性向上を図り業績を伸ばしても、使用

料金は町の歳入となっている。このため、JAから経営努力が収益に反映される協定内容に変更してもらいたい旨の要望があり、利用料金制へ移行した予算であるとの答弁がありました。

以上、質疑終了後は討論もなく、議案第10号は全会一致で原案のとおり可決すべきものと決しました。

議案第13号「平成26年度芦北町水道事業会計予算」

老朽化した送水ポンプの更新などを行うとの説明があり、収益的収支予算と資本的収支予算の合計が3億537万7千円で、花岡浄水場送水ポンプ更新事業費等の増により、前年度比5,927万7千円の増となっております。

委員から、1,135万4千円の未収金について質疑があり、水道使用料の滞納分251万3千円と平成25年度事業に係る消費税の還付金884万1千円が含まれているとの答弁がありました。

以上、質疑終了後は討論もなく、議案第13号は全会一致で原案のとおり可決すべきものと決しました。

文教厚生常任委員長報告

一抜粋一

議案第4号「平成26年度芦北町一般会計予算」

【教育課】

予算計上額は5億8,286万7千円で前年度に対し、1億4,405万円の増となっており、増額の主な理由については、小中学校の一般教室にエアコンを設置する事業分が増額となっております。

本年度の重点事業として、学習環境の整備では、小中学校の一般教室へのエアコン設置事業が計画されております。学力向上においては、ICT機器をさらに有効に活用するため、液晶テレビ型デジタル黒板の購入経費が計上されております。

また、安全安心な教育施設の維持管理のため、大野小、内野小、芦北幼稚園に防犯カメラ設置の予算が計上されております。

主な質疑を申し上げます。エアコン設置において1教室に2台ないし1台となつて

いるがという質疑に対し、場所と機器の能力により配置台数を決めているとの答弁がありました。また、通学補助費の179万8千円は、どこかの分になるのかとの質疑に対し、田浦中の海浦、井牟田地区の20名分との答弁がありました。



防犯カメラ(佐敷中学校)

【福祉課】

前年度に対し、1億675万4千円増の17億6,685万2千円が計上されております。

増額の主な要因としては、消費税率引上げに係る低所得

者に対する影響緩和措置としての「臨時福祉給付金」、また、子育て世帯への影響緩和措置としての「子育て世帯臨時特例給付金」が新たに加わったとの説明がありました。

主な質疑について申し上げます。災害時の避難行動要支援者名簿には、障害者は全て掲載されるのかとの質疑に対し、一定の基準を設けて作成予定であり、基準により掲載されない方は、申請により掲載できるようになるとの説明がありました。

【生涯学習課】

前年度に対し、1,232万9千円減の3億2,201万5千円が計上されております。

減額の主な要因は、佐敷東の城跡航空レーザ測量の事業終了に伴う委託料の減によるものとの説明がありました。

新規として、町民講座に、ヨガ及び絵手紙教室を開設するとの説明がありました。ま

た、文化振興事業では、葦北鉄砲隊の創隊10周年事業として開催予定の火縄銃サミットに対し、開催費用の一部を補助する予算を計上したとの説明がありました。

主な質疑について申し上げます。放課後子ども教室の実施校と参加者数の質疑に対し、佐敷小学校と湯浦小学校の2校で実施しており、参加者数は、佐敷小学校が30名、湯浦小学校が32名との答弁がありました。

【住民生活課】

予算計上額は人件費を除いて16億2,881万6千円で前年度に対し、1,421万7千円の増となっております。

増額の主な要因としては、後期高齢者医療事業にかかる療養給付費負担金及び低所得者の保険料軽減に伴う基盤安定繰出金の増との説明がありました。

「町民の健康づくりの推進」を本年度の最重要課題として、各種事業の推進及び展開を図って行くとの説明がありました。

また、平成27年度から平成29年度までの3年間を計画期間としている「芦北町健康

づくり推進計画」策定に向けて芦北町健康づくり推進プロジェクト部会において議論し、計画に反映したいとの説明がありました。

質疑の主なものを申し上げますと、水俣病発生地域高齢者等在宅支援事業の内容及地域についての質疑では、日常生活の行動能力等向上事業及び生きがいづくり支援事業などで、平成26年度は大字女島の範囲で事業展開の予定との答弁がありました。

また、子宮頸がん予防ワクチン接種は健康被害の問題があるが、本町の実態はどうかとの質疑に対し、被害報告は、1件もないとの答弁がありました。

以上、質疑終了後は、討論もなく、当委員会に係る議案第4号「平成26年度芦北町一般会計予算」については、全会一致で原案のとおり可決すべきものと決しました。

議案第5号「平成26年度芦北町国民健康保険事業特別会計予算」

事業勘定については、予算計上額は35億1,760万円で、前年度より1億1,580万円の増となっています。増額の主な要因としては、

一般被保険者に係る医療費と退職被保険者に係る医療費の増によるものとの説明がありました。

直診勘定については、予算計上額は5,290万円で前年度より670万円の減となつています。減額の要因は、職員の定年退職による人件費の減によるものとの説明がありました。

説明後は、質疑・討論もなく、議案第5号については、全会一致で原案のとおり可決すべきものと決しました。

議案第6号「平成26年度芦北町介護保険事業特別会計予算」

予算計上額は、20億8,270万円で前年度に対し、360万円の減となっております。減額の主な要因としては、要介護者の地域密着型サービス、施設介護サービス給付費等の減によるものとの説明がありました。

説明後は、質疑・討論もなく、議案第6号については、全会一致で原案のとおり可決すべきものと決しました。

議案第11号「平成26年度芦北町奨学資金貸付事業特別会計予算」

予算計上額は、3,170万

円で貸付申請者の増加により前年度に対し100万円の増となつております。

主な質疑を申し上げますと、滞納者の現状についての質疑に対し、現在22名の滞納者があり、保護者、連帯保証人と連絡をとり滞納整理を進めているとの答弁がありました。

質疑終了後は、討論もなく、議案第11号については、全会一致で原案のとおり可決すべきものと決しました。

議案第12号「平成26年度芦北町後期高齢者医療事業特別会計予算」

予算計上額は、2億6,580万円で、低所得者に対する保険料軽減分の増などにより、前年度に対し240万円の増となっております。

説明後は、質疑・討論もなく、議案第12号については、全会一致で原案のとおり可決すべきものと決しました。

以上で、文教厚生常任委員会に付託されました議案の審査経過と結果の報告を終わります。

予算・決算の

連合審査

毎年3月議会では、当初予算の審査、9月議会では前年度の決算審査を実施しています。

これまでの審査は、各常任委員会(総務・建設経済・文教厚生)ごとに実施していました。

しかし、総務常任委員会所管の歳入(主に町税、交付税、町債)は主要財源であり、他の委員会(議員)の関心も高く、連合(全員)で審査することが望ましいという観点などにより、平成26年度当初予算の審査から、歳入の審査を3委員会連合で実施しました。



連合審査会

瀬戸石ダムの 水利権許可に伴う問題は！



坂本議員

質 知事は、電源開発の水利権更新に対し、4点の附帯意見を付けたが、これについて町長の認識は。

答 町長

一つが地域の生活環境・自然環境への配慮について、二つ目が水産振興、流域の農業振興について、三つ目が河川の治水面での安全対策について、四つ目が地域からの要望・意見に対する配慮、対応についてであり、総合的に配慮された意見として認識をしている。

質 電源開発に対して、堆積土砂の除去を町としても求めるべきではないか。

答 町長

国交省に対して、電源開発に指導するよう既に要請をしている。電源開発から、堆積土砂の除去計画など、今後の対応について説明があった。

質 県営荒瀬ダムは撤去されるが、瀬戸石ダムによつてアユの遡上に悪影響があるので、電源開発に対し、稚アユの放流事業に補償を申し入れる。

てはどうか。

答 企画財政課長

電源開発と球磨川漁協が諸問題について話し合いを始めており、今後の動向を見守りたいと考えている。

介護保険料の現状は

質 介護保険料の現状をどのように認識しているか。また、低所得者の保険料負担を少しでも軽くする考えはないか。

答 町長

県内45市町村の中で安いほうから9番目であるという事実を承知している。また、低所得の皆様の負担軽減についても、十分配慮している。

答 住民生活課長

ニーズ調査の結果や有識者など各分野の代表15人で構成される芦北町老人保健福祉計画・介護保険事業計画運営調整委員会の議論を町民の声として受け止め、保険料とサービストとのバランスや負担感など、総合的な判断のもとに、現行の保険料額を決定している。

国民健康保険事業と水保病との関連は

質 水保病被害者の多発により、町民の中には国民健康保険税が高くなるのではないかと、という声がある。平成24年度の1人当たりの医療費、1世帯当たりの国民健康保険税、1人当たりの国民健康保険税はいくらか。

また、県下各自治体と比較して、その順位はどのようになっているか。

答 住民生活課長

平成24年度1人当たりの医療費は、年額4万7千9百71円、1世帯当たりの国民健康保険税は、年額10万8千143円である。

また、1人当たり医療費は県内で高いほうから2番目、被保険者1人当たりの国民健康保険税は年額6万1千665円となっており、県内で安いほうから2番目となっている。

質 水保病関係各種手帳の保持者も増え、当然、医療費も年々増加している。国民健

康保険事業への水保病認定申請に関わる財政負担増加額推移、水保病に関わる特別調整交付金の推移はどうなっているか。

答 住民生活課長

平成21年度から平成24年度にかけて水保病に係る医療費は、12・35%増加している。また、特別調整交付金も医療費の増加にあわせて増加している。

質 今後も水保病被害者に関わる医療費の国民健康保険町負担が生じないように、現在の国の負担15分の9を15分の12にするように、これまでどおり粘り強く国と交渉していただきたい。

答 町長

長い時間をかけて、関係省庁に粘り強く働きかけをこれまで展開してきた。その結果、国の特別調整交付金の割合が上がってきた。今後も強く働きかけていきたい。



川尻議員

一般質問 (抜粋)

本町非正規(嘱託・臨時)職員の雇用実態と問題点を問う！

質 本町役場における非正規職員の雇用の実態をどう認識し、また、どう対応しているのか。

答 町長

非正規職員については、行政ニーズが多様化している中、行政サービスの低下を招くことがないよう、必要に応じて臨時的、補助的に、適切な対応をしている。

質 非正規職員として10年以上任用している自治体の中に、本町も入っているが、雇用体制や待遇面に改善が必要と思うが。

答 総務課長

社会情勢の変化等を勘案しながら適宜取り組んでいきたい。10年以上の長期的な雇用については、地方公務員法に基づき任用となる嘱託職員及び臨時職員については適用除外とされている。

また、待遇面では、報酬及び賃金を平成26年4月から一部見直しを予定しており、保険関係は、適正な対応を行っている。

質 町内小中学校の非正規職員の実態をどのように把握しているのか。

答 教育課長

町が雇用している非正規職員については、特に支援を必要とする児童生徒に対し、授業中などの支援員12人、不登校対策支援員3人、学校内の庶務に従事する学校校務員10人を任用している。合計の25人となっている。

教員の非正規職員については、県教育委員会が臨時講師等を任用しており、平成25年度は、臨時教員が19人、それ以外に臨時的補員として非常勤の先生が3人雇用されている。

質 教職員の非正規職員について、芦北教育事務所への改善要望等の必要はないのか。

答 教育課長

県の非正規教職員については、原則として正規職員の例によるということで、労働条件等については問題がないと認識しており、その必要はないと判断をしている。

地方債の見通しは

質 平成6年度引き継がれた当初の地方債残高は60億4,700万円で、25年度末の地方債残高の見込みは106億6,700万円あまりと記されている。これは事業等の成果もあろうとは思いますが、今後3年間、竹崎町長任期中での元利償還計画はどのようになっているのか。また、町債の毎年借り入れる額と償還額の見通しを示してほしい。

答 企画財政課長

現在、起債借入のシーリングとしている臨時財政対策債を除く10億円を各年度の借入予定額としており、今後3年間の元利償還計画については、起債借入予定額を基にすると、各年約12億円程度と試算をしている。

質 合併前までの間の起債のふくれあがりはあるものだったのかと思うが、起債が60億円から100億円になった原因は何か。

答 町長

合併前と合併後増えたの

は、合併したからである。借金もあるし、基金もあるが、そんなのを合算するので、必然、増えるということである。それと、新町建設計画を議会でも認めていただいたが、その計画に基づいて、起債の計画も立て、いわゆる事業量も増えてきたわけで、そういうことがいえると思う。

質 3年後、地方債の残高はだいたい100億円以下にならないのか、どんな見通しか。

答 企画財政課長

10億円のシーリングをかけて起債を借りていくということとで、徐々に下がってくると見通している。

質 返す分(元利償還金)の中に、どれくらい交付税措置分が含まれているのか。

答 企画財政課長

起債の元利償還額がだいたい12億3,800万円ほどと予定をしており、これに対する交付税措置については、9億1,500万円、起債償還額のだいたい74・5パーセントを試算している。

議会のうごき

- 1月24日 福島県石川地方町村議会議長会視察研修来町
- 29日 議会運営委員会
- 29日 広報特別委員会
- 30日 熊本市町村振興協会第3回理事会(熊本市)
- 30日 熊本市町村議会議長会第5回理事会(熊本市)
- 2月 6日 鹿児島県阿久根市議会視察研修来町
- 18日 熊本市町村議会議長会定期総会(熊本市)
- 20日 熊本県後期高齢者医療広域連合議会定例会(熊本市)
- 25日 議会運営委員会
- 25日 総務常任委員会
- 25日 建設経済常任委員会
- 25日 文教厚生常任委員会
- 3月 3日 議会定例会(議案審議)
- 13日 議会定例会(一般質問)
- 14日 議会定例会(議案審議)
- 17日 水俣芦北広域行政事務組合議会定例会
- 20日 水俣・芦北地域振興財団第9回定期理事会
- 30日 芦北町議会議員一般選挙(投・開票)
- 4月 7日 議会臨時会(改選後の初議会)

鹿児島県阿久根市議会 視察来町

2月6日に鹿児島県阿久根市議会の皆さんが行政視察のため訪問され、藤井議長が対応しました。

今回の視察は、「交流人口増加対策について」御立岬公園(海釣りランド)について一研修で、DVDによる町紹介の後、企画財政課と商工観光課の担当職員が説明し、熱心に質疑応答がおこなわれました。

また、御立岬公園海釣りランドの現地を視察されました。



新メンバーでがんばります

芦北町議会議員の改選により、4月から広報特別委員会も新メンバーになりました。

議会の活動や審議内容を広く町民にお知らせするために、広報紙を発行いたします。



議会広報特別委員会

委員			副委員長	委員長
〃	〃	〃	平松 洋一	宮内 道則
荒川 知章	白坂 康浩	前田 徹一	(前列左)	(前列中)
(後列右)	(後列中)	(前列右)	宮尾 秀行	

次の議会は6月中旬の予定です。

編集後記



この度、議会広報特別委員会の新委員6人が決まりました。

議会だより「うたせ」は一年に4回、定例議会・臨時議会・各委員会の内容等について、皆様に親しんでいただけるよう委員全員で力を合わせ編集します。

私達の仕事は、第37号からの編集です。この紙面作成に当たり、編集会議を開き紙面の担当を決め、原稿を書き、校正を何回も繰り返し返しました。

また、紙面の中には専門用語も多く出てきますが、できる限り分かりやすくするため、表や写真などを多く入れ、全ページをカラーで印刷することになりましたので、関心を持って読んでいただければ幸いです。

(宮内)

